

令和5年11月14日、11月22日



＜地域と学校の連携・協働に関する研修＞

地域と学校の連携・協働による 学校運営改善研修



教育委員会事務局

学校支援・地域連携課

元となる根拠

○学習指導要領

- ・社会に開かれた教育課程の実現

○横浜教育ビジョン2030

○横浜市教育振興基本計画

- ・【計画期間】

4年間:2022(令和4)年度~2025(令和7)年度

横浜教育ビジョン2030

【横浜の教育が目指す人づくり】

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

【横浜の教育が育む力】

知

生きて
はたらく知

徳

豊かな心

体

健やかな体

公

公共心と
社会参画

開

未来を
開く志

【横浜の教育の方向性】

- ①子どもの可能性を広げます
- ②魅力ある学校をつくります
- ③豊かな教育環境を整えます
- ④社会全体で子どもを育みます

第4期 横浜市教育振興基本計画

計画期間：令和4年度～令和7年度

【柱5 家庭・地域等の多様な主体との連携・協働】 （施策1） 多様な主体とつながる教育の充実

◆施策の目標・方向性

子どもに関する課題や学校の課題の解決と未来を担う子どもたちの豊かな成長のために、学校が地域（地域住民、保護者、企業、大学等の様々な個人・団体）と連携・協働することにより、子どもたちが社会とつながる機会を創出し、子どもの学びや育ちを支えます。

【学校運営協議会 と地域学校協働活動の 一体的な推進による地域と学校の連携・協働】

学校教育目標や学校のビジョンを共有して 一体となって子どもを育てることが大切

学校運営協議会は、地域・保護者の皆さんと学校が目標を共有し、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みです。この仕組みを持つ学校を「コミュニティ・スクール」と言います。

地域学校協働本部は、既存の地域と学校の連携体制をもとにして、**地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)**が中心となって緩やかなネットワークを形成し、より多くの幅広い地域の皆さんや団体等の参画によって地域学校協働活動を推進する体制です。



- ・情報共有
- ・熟議
- ・課題
- ・目標共有

学校と地域が連携・協働することで地域の様々な宝物(人・もの・環境)を子どもたちの学び、育ちに活かすことができます



学校と地域の
架け橋

地域学校協働活動推進員
(学校・地域コーディネーター)



学校運営協議会は
学校にどのように関わっていくのですか？
学校運営協議会は学校と対等の立場で、
共有した目標に向かって熟議を行います。

地域学校協働活動推進員
(学校・地域コーディネーター)とは？
学校と地域の架け橋となる方で、地域
や学校の状況に応じて、地域と学校が協
働できる仕組みづくりを進める役割を担

地域も学校も、同じ方向性で
子どもたちの豊かな成長を支えていく

学校運営協議会と地域学校協働活動

学校運営協議会

- 学校運営の基本方針の承認（必須）
- 学校運営に関する意見（任意）
- 教職員の任用に関する意見（任意）

学校運営について
協議

協議に基づいて
アクション



(NPO法人まちと学校のみらい)

学校運営協議会の3つの役割

○校長が作成する学校運営の基本方針の承認

→目標やビジョンを共有。ともに子どもを育てる。

○学校運営について校長または教育委員会に意見を述べることができる

→個人の意見ではなく、合議体の意見

○教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見を述べる
ことができる

→学校の基本方針を踏まえて、実現しようとする教育目標に適った意見

意見書の提出

保護者や地域住民の意見を反映
→学校運営の改善・強化を図る仕組み

学校と地域が課題を認識し、共通の目標やビジョンを持つ

○子どもたちが
どう育ててほしいか
○児童・生徒指導上
の課題への対応

○保護者や地域住民
の参画による多様
な活動の実施

○学校と地域が
一緒にやれることは
○教育に地域の力を
どう生かすか

目標やビジョン
を共有し
本音で話し合う
熟議

○学力を向上させる
には

○防犯、交通安全
の取り組み

○校種間連携に
よる活動の充実
(幼保小連携、小中
高連携、小中特支、
高大連携)

熟議とは


○熟議とは

- 学校と地域住民で「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。




- 1.多くの当事者（保護者、教職員、地域住民等）が集まり、「学校や地域の課題」を共有し、
- 2.そのことについて学習・「熟慮」し、「議論」することにより、
- 3.互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- 4.それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
- 5.それぞれが納得して自分の役割を果たすようになる。

本音で話し合うためには？



A 管理職だけでなく、いろいろな職員が参加して、学校の実態や現状を知っていただく。（教員、事務、技術員 等）



例えば・・・

- 委員と教職員でグループワーク
- 教職員が困っていること
- それに対して地域ができること



視察報告

神奈川県立 あおば支援学校



みんなで作るコミュニティ・スクール



○第二回 学校運営協議会

○職員、保護者、地域、行政
を交えた熟議の場

○子どもを主語に熟議をしよう

令和5年度の熟議のテーマ

○切れ目ない支援部会 5グループ

「卒業後のスムーズな移行について考えよう」

○地域連携部会 5グループ

「子どもの安心・安全を考えよう」

キーワード「生活安全」「交通安全」「災害安全」

○地域学校協働部会 3グループ

「カリキュラムの充実とスリム化

～行事について考えよう～」

※コーディネーター2名参加

熟議の仕方を考えてみる

- なごやかに楽しく、安心して語れる雰囲気作り
- 人の話をよく聴き、ひとりが長く語らない
- 否定や批判をしない、ポジティブな流れを
- いろいろな意見は宝、多様性はイノベーションの源泉
- 付箋、ホワイトボード、模造紙、短冊等を使うことも
- SNS等にアップしない

ステップ 1

○自己紹介 所属・名前
現状把握・情報共有・課題の整理



ステップ 2

○アクションプラン 作成

「すぐできること」「来年やること」「課題の整理」



カリキュラムの充実とスリム化
～行事について考えよう～

3の2チーム 橋本 三益 松谷 藤原 (現職) 長野 (現職)	3の2チーム 橋本 三益 松谷 藤原 (現職) 長野 (現職)	3の2チーム 橋本 三益 松谷 藤原 (現職) 長野 (現職)	3の2チーム 橋本 三益 松谷 藤原 (現職) 長野 (現職)
〈現状, 情報共有, 課題〉	すぐできること	来年やること	将来の夢
<p>この行事とも良い!</p> <p>あおほ 保護者の希望 「フェス」の開催(地域との連携)を大切にしたい</p> <p>あおほ 保護者の希望 「フェス」の開催(地域との連携)を大切にしたい</p> <p>あおほ カン 保護者の希望を大切にしたい</p> <p>卒業式 入学式</p> <p>校外学習 宿泊 行事</p> <p>修学旅行 念のため 遠征している ニーズを念頭に 考えてほしい</p>	<p>あおほ フェスタ</p> <p>ペンフレンド 作成 不定期!</p> <p>あおほ メール 「お祭り」 と連携したい</p> <p>卒業式の居場所 (プラス) つくり からいかに連携</p> <p>挨拶巻を つくる 外にはる</p> <p>スポーツフェスタ</p> <p>アソケトを とる (仮に各地区)</p> <p>情報共有 (地域別/学年別)</p>	<p>全学年での パン販売 (保護者)</p> <p>あおほ パン 販売</p> <p>キャラクター 確立 あおほ</p> <p>日にち 変更</p> <p>あおほ保護 アワード 販売! 準備</p> <p>あおほ フェス 給食の日</p> <p>地域の中で あたりまえ</p> <p>新聞に (有知に)</p> <p>テーマソング をつくる</p> <p>卒業生も その場で 参加</p> <p>保護者の輪 にまわれ たい</p> <p>学業主権 ではなく NPOとか</p>	<p>地域の方が 気になった に活動を作る</p> <p>神奈川県で 有名人の行事!!</p>
<p>この行事子どもたちに かかっているかな?</p> <p>あおほ フェス 多岐にわたる 保護者の希望 を大切に したい 「フェス」の 開催(地域 との連携)を 大切にしたい</p> <p>投資券発行 個に合わせた 内容 を大切に したい</p> <p>スポーツフェスタ 内容に合わせた 開催 を大切に したい</p> <p>遠足 親子での 参加を 大切に したい</p>	<p>あおほ フェス 多岐にわたる 保護者の希望 を大切に したい 「フェス」の 開催(地域 との連携)を 大切にしたい</p> <p>投資券発行 個に合わせた 内容 を大切に したい</p> <p>スポーツフェスタ 内容に合わせた 開催 を大切に したい</p> <p>遠足 親子での 参加を 大切に したい</p>	<p>あおほ フェス 多岐にわたる 保護者の希望 を大切に したい 「フェス」の 開催(地域 との連携)を 大切にしたい</p> <p>投資券発行 個に合わせた 内容 を大切に したい</p> <p>スポーツフェスタ 内容に合わせた 開催 を大切に したい</p> <p>遠足 親子での 参加を 大切に したい</p>	<p>あおほ フェス 多岐にわたる 保護者の希望 を大切に したい 「フェス」の 開催(地域 との連携)を 大切にしたい</p> <p>投資券発行 個に合わせた 内容 を大切に したい</p> <p>スポーツフェスタ 内容に合わせた 開催 を大切に したい</p> <p>遠足 親子での 参加を 大切に したい</p>

ステップ 3

○部会内でシェア 意見交換



各グループ職員からの発表

ステップ 3

○部会内でシェア 意見交換



○行政職員からのプレゼン

○地域・保護者からの発信

ステップ 4

○全体会 3部会からの発表 まとめ



○今回、全15グループ
すべてに保護者が入っている

○保護者は委員だけでなく
参加希望者を募集

○今回の熟議を通して

- 解決の糸口をつかむ
- アクションにつなげる
- 様々な参加者の視点から
新たな発見

地域学校協働活動の取り組み

学校と地域の活動内容
令和3年度 地域学校協働活動

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小	A							遠足 小3.4A 10/14	校外学習 10/21	校外学習 11/18			
	B							遠足 小2 10/14 募集(10/14)	校外学習 小1.2 B 10/21 募集(10/14)		11/18 校外学習 お楽しみ利用 11/18	小2B 校外学習 お楽しみ利用 11/18	
中	A								しまじの おんがくたい 小・中寄部				
	B		神奈川 フル 全校		音楽劇 全校			10/14 全校 10/14					お楽しみ 小学生へ 音楽鑑賞 11/18
高	A												
	B		地域 たんば 10/14		明後日 朝顔 10/14		地域 貢献 高2 10/14	10/14 寄部 10/14	たんば 10/14 10/14	お楽しみ 10/14 10/14	スリア 10/14 10/14	お楽しみ 10/14 10/14	お楽しみ 10/14 10/14
級外													
部活等													

● 継続して
● 短期・片側
 付箋にシール貼る

地域学校協働活動の取り組み

- やれるかどうか分からないけど

「新たにやってみたいこと」を

夢でもいいので

ピンクの付箋に書いてください

- 枠の外に貼りつけてください

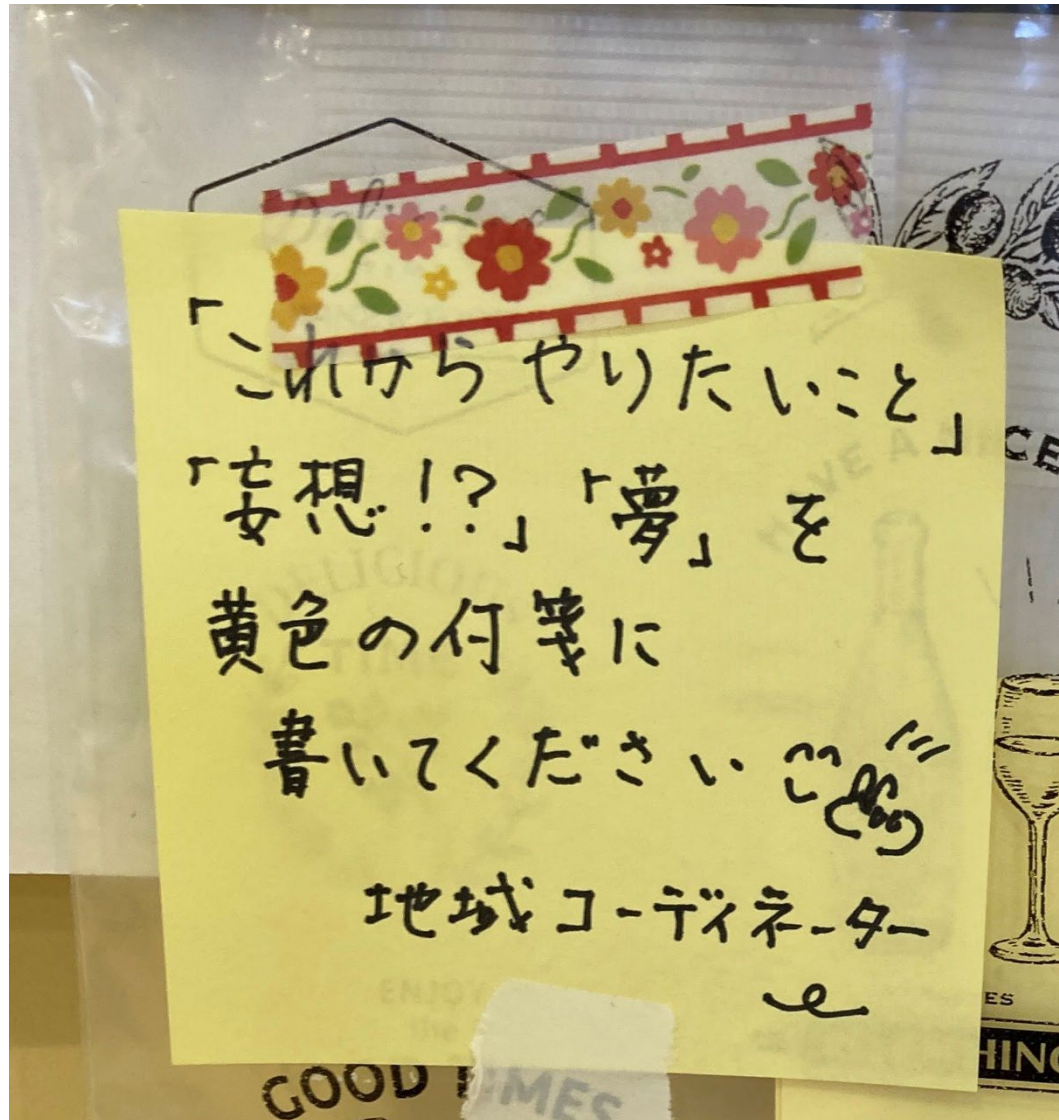
黄色い付箋は R3 年度の実績です

● 継続したい

● 時期・内容を工夫したい

付箋にシールを張りつけてください

コーディネート者の取り組み



コーディネーターの取り組み

コミュニティルーム

金曜日 14:00

佐々木 由紀子
よろしくお願いします



武智 理志
です
よろしくお願いします



地域コーディネーター在室

横浜市・あおば支援学校との
共同管理の花壇スペースです。
ボランティアさん、あおばの児童
生徒さん、みんな力を合わせて、
素敵な花壇を作っています

みんなの
花壇計画

津久井やま
あのような

とも
かな

意見

— 私たちは、あなた
— 私たちは、誰もが
— 私たちは、障がい
いかなる国籍や障
— 私たちは、この
平成28年10月14日 発行
二宮 幸子 編集

神奈川県